# 梶井基次郎論

## ―テクストの構造と視覚性に注目して―

森川雄介

本論は、梶井基次郎のテクストの構造と視覚性に注目して精読することで新たな読みを提出することを目指す。

第一章では「檸檬」について映画と小説を比較することでメディアの違いについて考察し、第二章で映画技法が文字テクストでどのような効果を持つのかを考える。第三章では物語世界に注目し聴覚によって浮かび上がる視覚的イメージを指摘する。第四章では物語世界と語られる人物からテクスト進行の原動力を探る。第五章では語り手と語られる人物に注目し、〈俺〉／〈お前〉の関係について考察する。

以上の考察によって梶井のテクストはその構造、視覚性に注目し精読することで新たな読みを見出せることが明らかとなった。

20×20